

連載第49回 横浜市議員 たけのうち猛 市民とともに

鉄道事故の再発防止、安全確保へ②

市営地下鉄ブルーライン脱線事故

私も事故翌日に下飯田駅の事故現場を訪問し、事故状況や復旧作業の進捗などを確認。シーサイドライン事故の直後にもかかわらず、こちらは初歩的なミスによる人災と言えるもので、一步間違えば大惨事で緊張感の欠如を指摘せざるを得ません。7月29日には事故調査委員会による報告書が示され、事故による損害額は約4億700万円にのぼることも明らかに。新たな安全装置によるハード面での再発防止策とともに、職員の作業管理の改善など、徹底的な安全対策を行って参ります。



横浜市議員 たけのうち猛

【ご相談・ご連絡先】

公明党金沢支部事務所
金沢区富岡西 3-38-1-101

☎ 080-9804-9782

☎ 045-345-4345

✉ info@takenouchi-takeshi.com
http://www.takenouchi-takeshi.com/

青：装置本体
(これを脇のレールにかぶせる)

赤：警報センサー

黄：センサーのピン



事故概要

- 6月6日(木) 5時22分頃
湘南台駅発あざみ野駅行きの始発電車が、下飯田駅を出発した直後に本線レール上に残された横取り装置に乗り上げ、6両中5両が脱線。乗務員1名が打撲などの軽傷。
- 市営地下鉄ブルーラインは、あざみ野～踏場間での折り返し運転となり、不通区間にはバスによる代行輸送等を実施。
- 6月10日(月)
復旧工事が完了し10時より運行を再開。
- 7月29日(月)
市会水道・交通委員会にて、事故調査委員会による調査結果等を公表。
- 7月31日(水)
作業実施者に加え、管理監督者、交通事業管理者(交通局長)への懲戒処分を発表。

事故原因

保守車両を本線に引き込むための横取り装置(仮設レール)の解除忘れで、列車の乗り上げによる脱線事故となりました。警報センサーのピンを抜くと装置が動かせる状態になり、同時にセンサーが作動し、警告機の点滅とブザーが鳴動する仕組みですが、本来は装置を解除するまで戻してはいけないセンサーのピンが戻されていました。